



今年度の事業報告

れんげ会 (中央市立田富総合会館)

(交流の場・スポーツをしたり身近な生活に関連するテーマを皆で話し合ったり学んだりする当事者会です。)



5月9日(日)に中央市立田富総合会館でれんげ会を開催しました。ポッチャとボーリングで運動をして、交流を深めるための茶話会では近況報告を参加者同士でしました。8月15日(日)は昭和町中央公民館で開催予定でしたが、感染者増加による知事からの自粛要請を受けて中止となりました。次回は11月14日(日)に中央市立田富総合会館で開催予定です。



穂のか主催による研修会

5月22日(土)に地域住民の学習会を玉穂総合会館で開催しました。「ひきこもりでいいみたい」と題して、峡東保健所の芦澤茂喜精神保健福祉相談員に講演をして頂きました。当事者との関わり方や寄り添う事が大切であること、また来場者からの質問を通じてひきこもり支援について確認する場となりました。後半は、以前ひきこもりとなっていた当事者の方から、当時感じていた思いや社会参加ができるようになった経緯などのお話を聞かせて頂きました。

ひきこもりに対する理解を深める機会となりました。



中央市・昭和町障がい者相談支援センター

穂のか通信 (第11号) 発行 令和3年8月31日

住所：中央市白井阿原301-5 TEL:055-274-1100 FAX:055-274-1103

中央市の「穂のか」のホームページはこちら



昭和町の「穂のか」のホームページはこちら



センター長挨拶

中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」では、地域の相談支援の拠点として総合的な相談を各種機関と連携しながら障がいのある方やご家族の個々のニーズに対する相談支援に取り組んでいます。また、当事者同士の交流の場(れんげ会)や、地域づくりに向けた取り組みとして、各種学習会も開催しています。本通信では、各種お知らせ、事業所の紹介など、本年前半の事業報告、今後の事業内容も含め掲載させていただきましたので、ぜひご覧いただき、お気軽に「穂のか」をご利用いただければと思います。また、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願うものであります。

センター長 田中 忠宏

令和3年度れんげ会のお知らせ

中央市・昭和町にお住まいの方で障がいのある方やそのご家族とスポーツをしたり、相談や自由に話せる交流の場です。参加される方は事前に申し込みをお願いします。

【対象】中央市・昭和町在住の障がいにかかる手帳や診断のある人、難病認定されている人、そのご家族

【時間】午後1時30分～午後3時30分

※例年と会場が異なりますので、ご注意ください。

11月14日(日曜日)

中央市立田富総合会館



しない ちょうないしやう ふくし じぎょうしよ
市内・町内 障がい福祉サービス事業所

Q Rコードから
の事業所も見れます



POCCO音の泉しょうわちゅうおう

【法人名】株式会社Happinessあさひ会 【住所】中巨摩郡昭和町飯喰1558-4 山の都Ⅱ 1-1号室
【電話】055-269-8501 【FAX】055-269-8502
【mail】info@pocco.jp 【HP】http://www.pocco.jp

【設備など】駐車場20台（共有）

サービス名	定員	送迎	活動内容 ほか
放課後等デイサービス	10名	あり	おんがくりょういく 音楽療育
児童発達支援（土曜日）	10名	あり	おんがくりょういく 音楽療育



【事業所からのPR】
未就学児から就学中の障がいのある子どもたちが、音楽を中心とし、療育の中で表現力や感受性の向上を目指し、心身の発達を目的とする多機能施設となっています。リトミックやオリジナル体操、バランスボールを使用することで、運動機能の向上が期待できます。また、歌を歌ったり、お友だちの声を聞いたことにより、言語面での成長も期待できます。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

ハッピーハグ ベリー

【法人名】株式会社E P I C 【住所】中巨摩郡昭和町河西628-7
【電話】055-288-0960 【FAX】055-288-0961
【mail】info@happyhug.net 【HP】http://www.happyhug.net

【設備など】学習スペース、訓練室、大型スクリーン、プロジェクター、トランポリン、駐車場

サービス名	定員	送迎	活動内容 ほか
放課後等デイサービス	10名	あり	学習支援、運動、制作、音楽、元Jリーガーによるサッカー教室、調理活動、公共の交通機関を利用したの外出活動、お買い物体験、SST（ソーシャルスキルトレーニング）



【事業所からのPR】
スモールステップの成功体験を積み重ねることにより、自己肯定感を向上させることを目標に、子ども達が興味を持って取り組めるような活動を提供致します。学習は『最後の高い壁』ではなく、生活のルーティーンの一部として、自然に机に向かえるようなサポートを心掛けています。教員免許や保育士免許保持者が、分かりやすく丁寧に学習のサポートを行い、分からなかったことが分かった、できなかったことができた、という達成感を持ってもらうことにより、学習に対する苦手意識を払拭していきます。視覚や聴覚に訴えかける施設作りにより、子ども達が自ら気づき行動できるような環境を整え、気持ちの切り替えや集団でのコミュニケーションをスムーズに行えるようサポートしていきます。保護者の皆様とじっくりと意見交換を行い、長い視野でお子様の将来像を描きながら、適切な療育にあたっていきます。

新型コロナウイルスに関する疑問を看護師さんに聞いてみました



新型コロナウイルスとの生活も1年以上続き、まだまだ安心できない状況が続いています。7月に障がい者施設の職員向けに感染症対策研修会がありました。参加者からの質問に県内病院の主任看護師の方に回答していただきました。一部、抜粋して掲載します。

質問①「マスクは感染防止に有効ですか？」

→有効であるが、素材によって効果は違います。不織布マスクが一番であり、続いて布マスク、ウレタンマスクです。どれも口と鼻をしっかりと覆っていることが重要です。



質問②「マスクをつけられない人にはどう接すればいいですか？」

→マスクをつけてもらうように諦めずに説明をしてください。それでもつけられない人と接するときは、自分の目・鼻・口を防御するためにマスクやフェイスシールドかゴーグルをつけてください。

質問③「手洗いと手指消毒はどちらが有効ですか？」

→どちらも感染対策の基本です。手洗いは目に見えて汚れている場合に石けんと流水でしてください。手指についている有機物や病原体を「除去」できます。手指消毒は手が汚れてないときに行い、病原体を短時間で確実に「減少」できます。



質問④「家庭でできる感染防止対策は？」

→体調チェック、家庭でもマスクを付ける、距離をとる、目を守る、こまめな手洗い、窓を開ける、家の環境を清潔にする。

換気をしよう

質問⑤「ワクチンは怖くないですか？」

→発症を予防する高い効果があり、また重症化を予防する効果が期待されます。

